

# はぐくみ

平成 28 年 1 月 15 日発行 No.75

<http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-hym/index.html>

## 「確かな学力」向上にむけて！

### ◆◇各校での学力向上対策の更なる充実に向けて！！◇◆

ふれあい訪問・要請訪問を通じ、校長先生のリーダーシップのもと、各校では学力向上対策の充実が図られていることをうかがうことができました。年度末・来年度に向け下記の視点で、更なる充実をお願いいたします。

#### □平成 27 年度山梨県学力把握調査「ピックアップ問題」の活用

- ・「小学校 3 年生用」「小学校 5 年生用」「中学校 2 年生用」の問題
- ・授業内で実施後、教師が採点し、授業改善成果の検証を行う

ピークウェアから  
ダウンロードしてください。  
<H28.3.11 まで>

#### □「小学校算数チャレンジ問題」の活用

- ・平成 19 年度から今年度まで実施の、全国学力調査 B 問題における「3 年」「4 年」「5 年」の記述式の設問
- ・授業、朝学習、家庭学習等における活用

#### □一校一実践・一人一実践の「評価」及び「改善」の取組

#### □年度末休業を含め、今年度内における確かな学力の定着

- ・小学校 5 年生、中学校 2 年生につきましては、各校種の最終学年になることを見据え、これまでに行われた各種学力調査等を活用するなどして、児童生徒の課題を把握し、年度末休業を含め、今年度内における確かな学力の定着を図る

## 【次期学習指導要領の改訂】

### 頭の片隅に・・・次期学習指導要領改訂と教育課程の編成に向けて

次期学習指導要領改訂に向けて、昨年 8 月、中央教育審議会の教育課程企画特別部会から『論点整理』が公表されました。それによると、子供たちの学校生活の核となる教育課程について、これまでの役割を捉え直していく必要があることを指摘しています。具体的には、社会や地域さらには世界とのつながりを意識した教育課程となるよう「社会に開かれた教育課程」の編成の重要性を挙げています。こうした編成を可能にするために、基準となる学習指導要領も、学校が「社会に開かれた教育課程」を実現していくことに資するものであることを強調しています。

さらに、次期学習指導要領では従来の各教科等の目標や内容に加えて、指導方法や学習評価のあり方についても、基本的な事項を示すよう求めています。国土舘大学教授の北俊夫氏は、『内外教育 平成 27 年 12 月 25 日号』で、“学習指導要領において「目標と内容と方法」の一体化あるいは「目標と指導と評価」の一貫性を図ることを目指している。これは学習指導要領の構造そのものを大きく変えるものだと言える”と指摘しています。

教育課程を編成する際には、自分と関わりのある教科等だけでなく、学習指導要領の改訂の趣旨を踏まえ教育課程全体を見通した上で、子供たちに身につけさせたい資質・能力をどのように育てていくのかを明確にして学習活動をさらに充実するよう配慮する必要があります。

### 【H27.12.21 中教審答申（2 答申）】

#### 「新しい時代の教育や地方創成の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」

#### 「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について ～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～」

昨年 12 月 21 日に中央教育審議会より、2 つの答申が出されました。「新しい時代の教育や地方創成の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」は、『社会に開かれた教育課程』の実現に向けた『チームとしての学校』の実現、学校の抱える課題の解決のために、子供たちの教育活動等を一層充実していく観点から、『地域とともにある学校』への転換に向けての『学校運営協議会』（コミュニティ・スクール）の仕組みの在り方等、学校と地域の連携・協働についての内容です。「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について ～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～」は、教員の資質能力の向上に向けて、アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善、道徳教育の充実、小学校における外国語教育（英語科）、ICT の活用、また、『チーム学校』の考えの下、多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、教育の充実を図る内容です。

社会情勢の変化を踏まえ、子供たちの望ましい成長と次代を生きていくうえでの確かな学力を育成していくためにも、今後の教育改革の動向を注視していきたいと思えます。

<文部科学省 HP>

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/)

中教審答申

検索

## ◆◆「H26 児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」結果 「生徒指導リーフ」の活用を!!◆◆

文部科学省より、「平成 26 年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」結果の発表がありました。(文科省HPに掲載) この調査は、昨年7月の岩手県矢巾町での事件を受けて、学校に再調査をお願いしたものです。本県の状況は、いじめの認知件数は、前年度より235件増加の2,353件(小学校+227件、中学校+8件)、いじめの解消状況としては、「いじめが解消しているもの」と、「一定の解消が図られたが継続支援中のもの」とを合わせると、小学校で97.7%、中学校で98.0%と高い割合を示しており、いじめの積極的認知を行い、早期対応をした成果が見られました。(詳細は、文科省HPをご覧ください。)

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/27/10/1363297.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/27/10/1363297.htm)
平成 26 年度児童生徒の問題行動
Q 検索

この調査等に関連し、いじめの認知に関する教職員の『温度差』について、「生徒指導リーフ」活用の通知がありました。いじめ・不登校についての取組等の情報が掲載されておりますので、活用をお願いいたします。

<国立教育政策研究所HP>
<http://www.nier.go.jp/shido/leaf/>
国立教育政策研究所 生徒指導リーフ
Q 検索

## ◆◆山梨市教育講演会～アクティブ・ラーニング講演会～(案内)◆◆

山梨市において、下記のようにアクティブ・ラーニング講演会が開催されます。次期学習指導要領改訂のキーマンである愛知教育大学副学長 野田敦敬教授の講演が行われます。山梨市以外の教員の参加も可能であります。参加を希望する方は、山梨市教育委員会にお問い合わせください。

- ◆ 主催 山梨市教育委員会
- ◆ 日時 平成28年2月15日(月) 午後3時～午後4時30分
- ◆ 会場 山梨市役所西館4階 401会議室  
山梨市小原西843 0553(22)1111
- ◆ 参加者 山梨市小中学校教職員 教育委員会関係者 活力ある学校教育推進会議委員  
教育関係者
- ◆ 内容
  - (1) 開会挨拶 山梨市教育委員会教育長
  - (2) 講演 講師 愛知教育大学 副学長 野田 敦敬 氏  
演題 「次期学習指導要領とアクティブ・ラーニング(仮)」
  - (3) 質疑応答
  - (4) 閉会挨拶
- ◆ 参加申し込み <締め切り 1月29日(金)>
  - ・所属・職名・氏名をメールまたはFAXにて
  - ・山梨市学校教育課 中村雅彦指導主事
  - TEL 0553-22-1111 FAX 0553-23-5357 mail: s005924@city.yamanashi.lg.jp

## ◆◆理科エネルギー教育関係備品の貸し出し◆◆

教育事務所では、理科エネルギー教育関係備品の貸し出しを行っております。「放射線遮蔽実験セット」、「燃料電池実験セット」、「風力発電キット」等30品・セットを超える学校備品として備えてないものがあります。備品一覧を事務所のホームページに掲載しました。ご活用ください。

<峡東教育事務所HP>
<http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-hym/index.html>
峡東教育事務所
Q 検索

## ◆◆指導主事学校訪問要請◆◆

月・日	学校名	形態	教科	研究主題・授業主体等
1月20日	塩山北小学校	その他	食育	食と健康について考え、自ら実践する児童の育成
1月20日	三富小学校	研究授業	英語	山梨市小学校英語活動推進協議会・教育課程特例校 授業
1月25日	山梨北中学校	研究授業	理科	「確かな学力の向上をめざす学習指導に関する研究」
1月27日	塩山中学校	研究授業	特別活動	「心豊かに、生きる力を育む教育の研究」
2月3日	日下部小学校	研究授業	体育	東山梨教育協議会小学校体育部会研究授業